

指定管理者制度導入施設の第三者評価結果

開催日	令和3年8月27日		
公の施設の名称	芦屋市立潮芦屋交流センター		
指定管理者の名称	NPO法人芦屋市国際交流協会		
所管課名	企画部広報国際交流課		
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		
所在地	芦屋市海洋町7番1号		
施設概要	国際交流センター、潮芦屋集会所、屋外交流広場 開館時間 9:00～21:30 (屋外交流広場は21:00まで)		
業務概要	国際交流に関する事業 貸室その他施設の利用に関する事業		
収支の状況	事業計画上の金額	実績	額
H30年度収入	38,204,000円		38,081,688円
H30年度支出	38,171,000円		38,667,405円
H30年度収支	33,000円		-585,717円
R1年度収入	39,494,311円		35,873,842円
R1年度支出	39,494,311円		35,798,042円
R1年度収支	0円		75,800円
選定・評価委員	委員構成	氏名	所属・役職
	1号委員 (学識経験者)	豊田 孝二	アクシア法律会計事務所 (弁護士・公認会計士)
	1号委員 (学識経験者)	倉本 宜史	京都産業大学経済学部 (准教授)
	2号委員 (諮問に係る公の施設に関し専門的知識を有する者)	吉富 志津代	特定非営利活動法人多言語センターFACIL (理事長)
	3号委員 (市職員)	田中 徹	芦屋市 企画部長
評価対象期間	平成31年4月1日～令和3年3月31日の2年間		

評価項目	説明	点数	得点率	評価
1 全般的事項		40		
書類全般	事業計画書、事業報告書、月次報告書等は、市が必要と認める事項が記載され、市が定める期限までに提出されているか	31	78%	C
2 適正な施設の管理		80		
施設保守・運営管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか	67	84%	A
従業員管理	適正な労働環境が保持されているか			
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか			
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか			
研修計画	従業員研修が十分に実施されているか			
3 事業収支・指定管理者の財政基盤・内部統制		60		
事業収支	事業収支は適切に算出され、計画に沿っているか	49	82%	A
財政基盤	財政基盤は安定的にサービスを提供できる状態にあるか			
内部統制	業務運営に関する内部統制は有効に機能しているか			
4 サービスの質の維持・向上		60		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか 提案されていた自主事業等に計画通り、取り組んでいるか	39	65%	B
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか			
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか			
5 事業への取り組み		160		
本来事業内容	計画は仕様に沿ったものであり、ニーズが反映されているか	109	68%	B
自主事業	計画は仕様に沿ったものであり、ニーズが反映されているか 地域コミュニティ発展への取り組みはされているか 創意工夫はされているか			
		得点率	74%	B

利用状況等	項目名	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		実績	実績	実績
	施設利用人数(延人数)	111,963件	95,391件	69,603件
	潮芦屋集会所利用率	57%	55.0%	42%
	国際交流センター利用率	48%	45%	35%
	屋外交流広場利用率	94%	94%	93%
	本来事業参加者(延人数)	5,764人	2,751人	1,552人

総合評価	B	評価の理由
		計画に沿って概ね良好な管理運営が行われています。コロナ禍でも事業が継続できるようオンラインでの事業も実施しており、今後も新たな取組を実施してください。しかし、施設利用者が固定的であるため、今後はアンケート内容を見直し、新規利用者の開拓や昨今の多文化共生を意識した事業を進めるようにしてください。

総合評価結果	得点割合	
S 優良	90%以上	目標・計画を大きく上回る。優れた管理運営が行われたもの
A 良好	75%以上	目標・計画を上回る。良好な管理運営が行われたもの
B 適正	60%以上	計画に沿ったものである。適正な管理運営が行われたもの
C 要努力	50%以上	目標・計画を下回る。一部に課題がある管理運営が行われたもの
D 要改善	50%未満	目標・計画を大きく下回る。課題がある管理運営が行われたもの

講評及び次期指定に向けての課題等	
指定管理者に対する意見	施設所管課に対する意見
<p><b>【全般的事項】</b>            ・限られた指定管理料の中で、利用者のニーズに応えられるよう見直しを図ってください。</p> <p><b>【適切な施設の管理】</b>            ・従業員研修等で参加するだけにならないよう、情報共有や知識を深める協議をして、事業等に反映できるよう取り組んでください。</p> <p><b>【事業収支・指定管理者の財政基盤・内部統制】</b>            ・理事の現場へ理解・把握をより深めるようお願いしたい。</p> <p><b>【サービスの質の維持・向上】</b>            ・アンケートは実施しているが、形式的なものになっているように見受けられる。アンケート内容の工夫や改善を検討してください。            ・住民や利用者とのパートナーシップは常連以外へのアプローチが見られない。パートナーシップを意識し、事業等へ反映できるよう取り組んでください。</p> <p><b>【事業への取り組み】</b>            ・多文化共生についての理解が足りていないように見受けられる。            ・事業は外国出身者の積極的な参加が見られず、固定メンバーでのクラブ活動の延長と捉えられる。日本語教室や相談事業も単に支援プログラムに過ぎず、多様な住民のコミュニティ参画の意識向上に取り組んでください。</p>	<p><b>【サービスの質の維持・向上】</b>            中長期を見据えた施設の修繕計画等の作成やアンケート内容について指定管理者と連携に努めてください。</p> <p><b>【事業への取り組み】</b>            多文化共生の事業の内容について指定管理者と十分な連携及び指導に努めてください。</p>